

## 式 辞

### 「世界の医学と看護学を牽引する皆さんに期待して」

学 長 鈴 木 衛

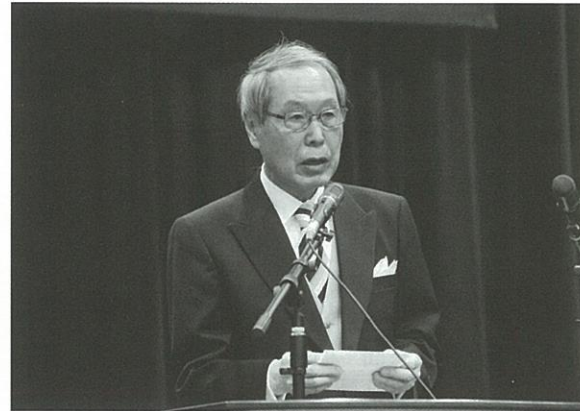
晴れて東京医科大学に入学された医学科120名と看護学科95名の皆さん、誠におめでとうございます。今年は次の100年の更なる発展に向けて東京医科大学が歩み始めた最初の年です。この記念すべき年に皆さんの入学を祝うことができるのは大きな喜びです。

東京医科大学の源流は東京医学講習所です。ある医学専門学校の経営陣と対立して退学した約450名の学生達と、彼らを支援した学祖高橋琢也先生によって1916年9月に設立されたという、特異な経緯があります。学生自身の考えや行動が創立に関わったという歴史から、「自主自学」を建学の精神としています。

本学は東京の中心にあり、世界の最先端の情報、様々な文化、芸術など「多様性」に触れられる環境にあります。その環境を大学生活にどう生かすかは自分次第です。勉学以外にも目標を持ち、有効に過ごしてください。また、学生時代は自らの能力や才能を発見し見つめ直す時期でもあります。将来得意な分野で実力を発揮できるよう自己研鑽に努め、力を蓄えておくとよいと思います。

東京医科大学はクラブ活動も盛んですので、機会があれば参加して協調性や社会性を培ってほしいと思います。ただ、あくまでも勉学が最優先ですので、基礎から積み上げ、臨床実習で確固たる力がつく学習を心がけてください。そして医師、看護師の国家試験に全員で合格して日本の医療を支えてください。皆さんの未来はこの国家資格を得ることで無限に広がるものと確信しています。

本学創立後の100年は、世界にとって激変



式辞を述べる鈴木学長

の時代でした。日本も悲惨な戦争などを経験しましたが、急速に復興を果たし、今日の平和で成熟した民主国家と、医療面では安定した皆保険制度を確立するに至ったのは周知の通りです。この医療を支えているのは、現場での医療人の献身的な働き以外にありません。しかし、他の先進諸国と比べてその数は十分でなく、社会は皆さんの一刻も早い活躍を待っています。医療職の基本は病気を治す、患者さんを支えるなど、目的が明確で純粋な仕事ですが、日本では超高齢化と少子化によって、新たな社会構造への対応が必要となってきました。医療人の役割は多様化しており、幅広い見識と経験が求められています。本学の校是は「正義・友愛・奉仕」ですが、これはいかなる医療現場においても基本とすべき精神であると考えます。高い倫理感と使命感を持った医療人の育成は、本学にとって最重要課題で、昨年策定しました中長期計画でも我々のミッションを「患者とともに歩む医療人を育てる」と謳いました。この意識のもとに職員一丸となって皆さんを支援してい

くつもりです。

世界が限りなく狭くなった今日、グローバルな視点から医療や看護を考えてほしいと思います。特に留学は視野を広げ、皆さん自身と大学の発展へつながります。混迷が増しつつある世界に、日本のすぐれた文化や制度を発信し伝えることも皆さんの役割と考えます。

医療・看護という崇高な仕事に携わることを決意した皆さんと共に、東京医科大学の次の輝かしい100年を創っていかねばなりません。皆さんが実り多い学生生活を送り、世界の医学と看護学を牽引する医療人として育つことを心から願っています。

本日は誠におめでとうございます。